

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和04年06月24日(金)

事務事業		ごみ処理事業		担当課	環境衛生課	担当係	業務係	管理番号	3911	
総合計画	大項目	4	安心とやすらぎを感じられるまち	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務					
	中項目	3	人と自然にやさしいまちづくり	根拠法令 個別計画等	大里広域市町村圏組合規定					
	小項目	2	環境衛生の推進							
	主要プロジェクト	0	(未使用)							
事業概要		経費の軽減を図るために二市一町で構成する大里広域市町村圏組合による可燃ごみ及び不燃ごみの処理に伴う負担金の支出及び調整事務。								
目的 ※何のために		経費の削減を図るために、共同で事務処理を行う。								
対象 ※誰・何を対象に		市民から排出される一般廃棄物。								
手段 ※どのように		深谷市・熊谷市・寄居町で構成する大里広域市町村圏組合で可燃ごみ及び不燃ごみの処理施設を運営する。								
成果 ※何を求めるか		大里広域市町村圏組合で共同処理することにより、経費の軽減を図る。								
執行体制		<input checked="" type="checkbox"/> 職員 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NPO等 <input checked="" type="checkbox"/> その他(大里広域市町村圏)								
事務事業を構成する 予算事業		区分	款	項	目	細事業名		前年度決算額(円)		
		一般会計	4	衛生費	2	清掃費	1	清掃総務費	大里広域市町村圏組合負担金(清掃)	1,186,810,564
		一般会計	4	衛生費	2	清掃費	2	塵芥処理費	ごみ収集委託事業	495,956,164
本事業の 主な業務		・大里広域市町村圏組合の清掃事務の調整					・			
		・大里広域市町村圏組合負担金の支出					・			
		・ごみ収集業務委託					・			
		・					・			
		・					・			
		・					・			

2. 事業費(投入コスト)

単位: 円

区分		平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
年度別計画							
事業費	予算(現額)	1,454,418,000	1,518,274,000	1,459,085,000	1,604,904,000	1,682,768,000	1,806,067,000
	決算額	1,454,416,178	1,518,271,996	1,459,055,509	1,604,903,574	1,682,766,728	0
	財源内訳	国支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		他特定財源	182,100,000	163,000,000	182,100,000	176,994,153	182,100,000
		一般財源	1,272,316,178	1,355,271,996	1,276,955,509	1,428,221,686	1,505,772,575
人件費	従事職員数(人)	0.60	0.60	0.60	0.60	0.60	0.60
	人件費相当試算※	4,667,400	4,669,200	4,716,600	4,881,600	4,657,149	4,878,809
総事業費試算		1,459,083,578	1,522,941,196	1,463,772,109	1,609,785,174	1,687,423,877	1,810,945,809

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名		単位	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	
	目標値	実績値								
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
実績値の算出式										
活動指標 1	実質的な負担金額	目標値	百万 円							
		実績値		862.98	925.6	857.99	987.45	1009.82	0	
	目標値の算定根拠/実績値の出所			負担金は、整備事業費・ごみ搬入量等により金額が変わるため目標値設定はしない。 / 立地交付金を差引いた負担額						
	実績値の算出式									
成果指標 1	可燃ごみの年間処理量（本市分）	目標値	t	46980	43814	40222	36630	33038	29446	
		実績値		47405.67	48784.32	48339.38	47832.64	46510.6	0	
	目標値の算定根拠/実績値の出所			深谷市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画の削減目標値を設定する。 / 大里広域からの報告						
	実績値の算出式									
成果指標 2	不燃ごみの年間処理量（本市分）	目標値	t							
		実績値		3338.05	3370.71	3393.63	3708.81	3730.09	0	
	目標値の算定根拠/実績値の出所			深谷市一般廃棄物処理基本計画の削減目標に達しているため目標値設定はしない。 / 大里広域からの報告						
	実績値の算出式									
成果指標 3	ごみ処理に係る年間の経費（本市分）	目標値	円							
		実績値		20199.9	20854.39	19758.29	21756.62	22933.27	0	
	目標値の算定根拠/実績値の出所			負担額・処理量は、人口・ごみ搬入量、修繕料等により変わるため目標値設定はしない。 / 負担額／ごみの年間処理量						
	実績値の算出式									
		目標値								
		実績値								
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									
		目標値								
		実績値								
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。  
目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。  
事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に適う成果がでているかを評価します。  
(評価基準) (A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない)

(1) 事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	B	大里広域市町村圏組合からの請求により負担金を支出している。可燃物、不燃物等の一般廃棄物は円滑に処理されている。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	B	前年と比較して可燃ごみは減少しているが、不燃ごみは若干増加している。
			評価者 係長 荻原 康裕

(2) 事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。  
(評価基準) (A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない)

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	A	概ね効率的に処理できているものと考える。
			評価者 係長 荻原 康裕

5. 前年度改善改革プラン達成状況

令和2年度の評価を受けて 設定した改善・改革案	次期ごみ処理施設の検討にあたり、施設規模が建設費、維持管理費に影響を与える。ごみの分別によりリサイクルを促進し、ごみの減量化を図る。
達成状況及び その効果	特になし

6. 所属長評価（今後の方向性）

事務事業	ごみ処理事業	担当課	環境衛生課	担当係	業務係	管理番号	3911
<div><div><div>■ ①拡充, 重点化(コスト投入)</div><div><input type="checkbox"/> ②現状のまま継続</div><div><input type="checkbox"/> ③見直して継続</div><div><input type="checkbox"/> ④目的達成による終了</div><div><input type="checkbox"/> ⑤廃止を検討</div></div><div><div><input type="checkbox"/> 委託化等の検討</div><div><input type="checkbox"/> 成果向上のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 効率化のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 事業規模の縮小</div><div><input type="checkbox"/> 他の事務事業と統合</div></div></div>		評価の内容説明					
		ごみの焼却施設については、圏域内の共同事務として大里広域市町村圏組合にて実施している。組合で実施した焼却施設の長寿命化工事が平成30年度に完了し、今後は、次期ごみ処理施設の建設工事の計画が進んでいく予定。ごみ収集委託については、昨年度より新たに5年間の契約が開始したことから、ごみの収集において混乱等が生じないよう、引き続き、慎重に業務を実施していく必要がある。					
上記を実施するための具体的な取組内容は？		評価者 課長 洪澤 滝人					

7. 改善改革プラン・今後の課題

令和4年度に実施する 改善・改革案 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	大里広域市町村圏組合が事業主体となり進めている次期ごみ処理施設の建設が本格化することにより、負担金の増額が見込まれる。
令和5年度以降に取り組む 改善・改革案・今後の課題 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	大里広域市町村圏組合が事業主体となり進めている次期ごみ処理施設の建設が本格化することにより、負担金の増額が見込まれる。

8. 評価指標グラフ

